

美幌町の地域福祉に関するアンケート

～～ すべての人々がたがいに助け合い温かに暮らせるまちへ ～～

〔調査ご協力のお願い〕

町民の皆さまには、日ごろから町政にご理解とご協力をいただき、心から深く感謝申し上げます。

現在、本町では平成26年度に策定した「第2期美幌町地域福祉計画」の見直し時期を迎え、現在あらたな計画の策定作業を進めています。この計画は、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、町民・関係機関、団体と行政が連携し、地域住民が互いに助け合い、支え合う仕組みづくりを、ともに考え、進めていくものです。

なお、今回の調査は、本町にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に1,000人を選ばせていただきました。調査票は無記名で、統計的に処理します。ご記入いただいた調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは一切ありません。大変お忙しい中、恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

令和元年5月

美幌町長 平野 浩 司

□■□ ご記入にあたっての注意事項 □■□

1. あて名の方ご本人がお答えください（ご家族と相談していただいても結構です）。また、本人が記入できない場合は、ご家族の方が本人のお考えを聞きながらご記入ください。
2. 回答は、あてはまる答えの番号を○で囲むか、回答欄に回答を記入してください。「その他」を選んだ場合は、その具体的な内容を（ ）のなかに記入してください。
3. 選択する答えの数は「1つだけ」「3つまで」「あてはまるものすべて」などの指示にしたがってください。
4. ご記入後は、回答用紙を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、5月31日（金）までにご投函ください。
5. ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

美幌町役場 民生部 保健福祉グループ 民生担当

TEL 73-1111（内線236、277）

FAX 72-4869

E-mail: minsei@town.bihoro.hokkaido.jp



今回のアンケート調査については美幌町実施のアンケートですが、(株)美幌新聞社にアンケートの回収、集計を委託していますので、返信用封筒の送り先は「(株)美幌新聞社」となっていますのでご了承ください。

■あなたご自身のことについてお伺いします■

問1 あなたの性別をお教えてください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢をお教えてください。

1. 10歳代 4. 40歳代 7. 65歳～69歳
2. 20歳代 5. 50歳代 8. 70歳代
3. 30歳代 6. 60歳～64歳 9. 80歳以上

問3 あなたご自身を含めた、同居のご家族の人数をお教えてください。

【〇は1つだけ】

1. 1人暮らし（同居の家族はいない） 4. 4人
2. 2人 5. 5人以上
3. 3人

問4 同居のご家族をお教えてください。【あてはまるものすべてに〇】

1. 同居の家族はいない 6. 祖父母
2. 配偶者 7. 孫
3. お子様 8. 兄弟姉妹
4. 父親（配偶者の父親を含む） 9. その他（ ）
5. 母親（配偶者の母親を含む）

問5 あなたもしくはあなたが同居しているご家族の中に、次のような方はいますか？

【あてはまるものすべてに〇】

1. 乳児（1歳未満） 6. 65歳以上の方
2. 乳児を除く小学校就学前の幼児 7. 介護を必要とする方
3. 小学生 8. 身体・知的・精神などに障がいのある方
4. 中学生・高校生 9. いずれもない
5. 19歳～64歳の方

■近所との関わりについてお伺いします■

問6 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか。【〇は1つだけ】

1. 困っているときは、相談・助け合いをしたりする
2. 冠婚葬祭程度のお付き合い
3. 留守にするときに声を掛け合う
4. あいさつをする程度
5. ほとんどつきあいがいい
6. どんな人が住んでいるか知らない

問7 あなたは、近所で困っている人がいた場合、お手伝いをしたことがありますか。
【〇は1つだけ】

1. 自分から進んで行っている
2. 頼まれれば手伝う程度
3. 手伝ったことがない →問8へ

問8 問7で「3. 手伝ったことがない」と答えた方にお聞きします。今後、機会があれば手伝ってみたいと思いますか。

1. 機会があればしてみたい
2. してみたいとは思わない



■地域福祉に対する考え方についてお伺いします■

問 9 高齢者・障がい者の方々に対して、特に支援が必要だと思われるものはどれですか。
【〇は3つまで】

1. 日常生活の支援（食事の世話、家の掃除、買い物、ゴミ出しなど）
2. 家の玄関から公道までの除雪
3. 声かけや安否確認
4. 通院・施設への送迎や外出の支援
5. 快適で安心な地域環境づくり
6. 日常生活全般から医療や介護についての相談
7. 趣味活動など余暇を過ごす活動への参加
8. 経験や知識などを活かした社会貢献
9. その他（)

問 10 子育て中のご家族等へ、特に支援が必要だと思われるものはどれですか。
【〇は3つまで】

1. 親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実
2. 親同士やボランティアによる地域での子育ての助け合いの仕組み
3. 子育ての不安や悩みの相談に対する支援体制
4. 子どもの健康や発達に関する支援
5. 親子が自由に交流できる場の充実
6. 放課後における地域での取り組み
7. その他（)

問 11 あなたは地域社会での生活で起きるさまざまな問題に対して、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。

1. 必要だと思う
2. 必要だと思わない。→問 12 へ

問 12 問 11 で「2. 必要だと思わない」と答えた方だけにお聞きします。住民相互の自主的な協力関係が必要だと思わない理由を含めて、あなたのお考えをお答えください。
【〇は1つだけ】

1. 他人と関わりを持たない自分だけの静かな暮らしを求めているから必要ない
2. 個人の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題なので必要ない
3. 住民同士の支え合いの活動に期待をしていないので必要ない
4. 友人や知人との結びつきがあれば十分なので必要ない
5. 地域社会の問題は、行政などが全面的に対応すべきであるから必要ない
6. その他の理由（) から必要ない
7. わからない

問 13 あなたは、ふだんの生活で主にどのような悩みや不安を感じていますか。

【〇は3つまで】

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと | 6. 住まいに関すること |
| 2. 自分や家族の老後のこと | 7. 人間関係に関すること |
| 3. 子育てに関すること | 8. 防犯・災害時の備えに関すること |
| 4. 介護に関すること | 9. その他（ ） |
| 5. 家計に関すること | 10. 特に問題や不安はない |

問 14 あなたは、悩みや不安について、誰に、またはどこへ主に相談していますか。

（相談したいですか）【〇は3つまで】

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| 1. 家族・親族 | 11. 学校の先生や栄養士・幼稚園教諭 |
| 2. 近所の人 | 12. 医療機関（医師・看護師等）や薬局 |
| 3. 知人・友人 | 13. NPOやその他の民間団体 |
| 4. 職場の人 | 14. ボランティア |
| 5. 民生委員・児童委員 | 15. その他（ ） |
| 6. 役場等の相談窓口 | 16. どこに相談してよいかわからない |
| 7. 自治会役員 | 17. 相談できる人や場所がない |
| 8. 社会福祉協議会 | 18. 相談はしたくない |
| 9. 地域包括支援センター・
介護支援専門員（ケアマネジャー） | |
| 10. 福祉サービスの事業者やその職員 | |

■福祉サービスに対する意識についてお伺いします■

【福祉サービスについて】

- ・福祉サービスは、下記のとおり国または町独自のサービスがあります。

国のサービス（概要）	
介護保険サービス	介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して、自分らしく暮らせるよう、介護を社会全体で支えていく制度です。（介護が必要な段階に応じてさまざまなサービスが受けられます。）
障がい福祉サービス	障がいのある人も地域で安心して暮らせる社会の実現をめざした制度です。（障がい程度や助案すべき事項（社会活動や介護者、居住等の状況）を踏まえて、さまざまなサービスが受けられます。）

町独自のサービス（主なもの）	
高齢者の福祉サービス	生活援助事業（ホームヘルプサービス） ○買物、家庭内の整理・整頓、健康・栄養管理に関する助言・指導などのサービスを行います。
	緊急通報システム ○ボタンを押すだけで消防署へ通報ができ、また、煙などを感知した場合は、自動で消防署に通報する装置を貸し出します。
	愛のふれあい訪問 ○安否確認の手段として、定期的に乳酸飲料を配達します。
	除雪サービス ○除雪労力の確保が困難な世帯（町民税非課税世帯）について、避難経路の確保を行います。
	配食サービス ○食事を作ることが難しい方に夕食を届けます。
	移送サービス ○病院受診など歩行困難で一般の交通機関や家族による送迎が難しい方に特殊車両で送迎を行います。
	検索機器の貸出等 ○認知症の高齢者等で徘徊のおそれのある方を介護している方に位置検索機器の貸出等を行います。
	やすらぎ支援事業 ○やすらぎ支援員が、認知症高齢者の居宅を訪問し見守り等を行います。
	自立支援型デイサービス ○どなたでも気軽に利用できる、「やすらぎ」「いきがい」の場として、老人憩いの家及びコミュニティセンター（和室）を開放しています。

問 15 町及び関係機関が行う福祉サービスについて、現在どのようなサービスがあるかご存じですか。【○は 1 つだけ】

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 知っている | 3. あまり知らない |
| 2. だいたい知っている | 4. まったく知らない |

問 16 あなたご自身や、あなたのご家族に福祉サービスが必要になったとき、すぐにサービスを利用したいと思いませんか。【○は 1 つだけ】

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 積極的に利用したい | 3. 抵抗があるので利用したくない |
| 2. 抵抗はあるが利用したい | 4. わからない |

問 17 もし、あなたのご家族のどなたかに介護が必要となった場合、あなたはどのようにしたいとお考えですか。【〇は1つだけ】

1. 家族だけで介護をする
2. 家族が中心となって介護をするが、足りないところは福祉サービスを利用する
3. 積極的に福祉サービスを利用して在宅で介護をする
4. できれば福祉施設で介護してもらいたい
5. その他（)
6. わからない

問 18 自分に最適なサービスを安心して利用するために、今後、町ではどのようなことに取り組む必要があると思いますか。【〇は3つまで】

1. 福祉サービスに関する情報提供を充実する
2. 適切な相談対応やサービス選択の支援ができる体制を整える
3. サービスに関する苦情や事業者とのトラブル解決の支援体制を整える
4. サービスの内容を評価する仕組みを整える
5. 行政やサービス事業者の情報公開を進める
6. 町民が福祉にかかわる法律や制度を学習できる機会を増やす
7. サービス利用者の権利を保護する仕組みを作る
8. その他（)
9. わからない

問 19 町の福祉・保健サービスに関する情報をどこから得ていますか。
【あてはまるものすべてに〇】

1. 家族・親戚
2. 近所の人や友人・知人
3. 民生委員・児童委員
4. 学校や職場
5. 町の広報紙やパンフレット
6. 町のホームページ
7. 町役場の窓口（しゃきっとプラザなども含む）
8. 社会福祉協議会の窓口や広報
9. 地域包括支援センター・介護支援専門員（ケアマネジャー）
10. 福祉サービスの事業所またはその職員
11. 医療機関（医師・看護師等）や薬局
12. NPOやその他の民間団体
13. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等
14. 町のホームページ以外のインターネットの情報サイト
15. その他（)
16. 特にない

■ ボランティア活動についてお伺いします ■

問 20 あなたは、今までにどのようなボランティア活動に参加したことがありますか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 高齢者支援に関する活動（高齢者の見守りや老人クラブ活動など）
2. 障がい者(児)に関する活動（障がい者(児)の活動や施設・事業所等での活動など）
3. 子育て支援に関する活動（託児、子育て相談や子育てサークルの活動など）
4. 福祉のまちづくりに関する活動（社協活動など）
5. 自然や環境の保護に関する活動（自然愛護や美化活動、リサイクル運動など）
6. スポーツや文化に関する活動（スポーツ団体での指導や審判、文化活動での指導など）
7. 青少年の健全育成に関する活動（交流活動や子ども会活動など）
8. 国際交流に関する活動
9. その他（)
10. 参加した経験はない→問 21 へ

問 21 問 20 で「10. 参加した経験はない」と答えた方だけにお聞きします。参加していない理由はなんですか。【○は1つだけ】

1. 自分にあった時間や内容の活動がない
2. 時間にゆとりがない
3. 気持ちにゆとりがない
4. 1人では参加しにくい
5. 経済的に余裕がない
6. 魅力的な活動がない
7. どんな活動があるかわからない
8. その他（)

問 22 あなたは、どのようなボランティア活動に興味がありますか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 高齢者支援に関する活動（高齢者の見守りや老人クラブ活動など）
2. 障がい者(児)に関する活動（障がい者(児)の活動や施設・事業所等での活動など）
3. 子育て支援に関する活動（託児、子育て相談や子育てサークルの活動など）
4. 福祉のまちづくりに関する活動（社協活動など）
5. 自然や環境の保護に関する活動（自然愛護や美化活動、リサイクル運動など）
6. スポーツや文化に関する活動（スポーツ団体での指導や審判、文化活動での指導など）
7. 青少年の健全育成に関する活動（交流活動や子ども会活動など）
8. 国際交流に関する活動
9. その他（)
10. 参加したい活動はない

■今後の行政運営についてお伺いします■

問 23 あなたは、住みなれた地域で、安心して生活を送るために、町が取り組むべきこととして、どれを進めるべきだと思いますか。【〇は3つまで】

1. 保健・医療・福祉の連携による相談体制、支援体制の充実
2. 交通の利便性の向上、商店街の活性化など、地域おこしによる暮らしやすさの追求
3. 男女が対等なパートナーとして認め合う男女共同参画社会の実現
4. 地域における防犯、防災体制の充実
5. 趣味やサークル活動への参加と生涯学習の充実
6. ボランティア活動やNPOによる福祉サービスの健全な発展
7. 福祉サービスに関する情報の提供
8. 地域を支える人づくりのための学習機会の充実
9. 自治会や地域住民相互の協力による助け合い
10. 子育てを地域全体で支えていく環境づくり
11. 地域福祉活動への住民の主体的な参加
12. その他 ()

■成年後見制度についてお伺いします■

問 24 成年後見制度についてご存じですか。【〇は1つだけ】

1. 知っている →問 25 へ
2. 聞いたことはある→問 25 へ
3. 知らない

問 25 問 24 で「1. 知っている」・「2. 聞いたことはある」と答えた方にお聞きします。成年後見制度を何で知りましたか。

【あてはまるものすべてに〇】

1. 社会福祉協議会主催の講演会（講談師、落語家が講師）
2. 町役場の窓口（しゃきっとプラザなども含む）
3. 近所の人や友人・知人
4. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等
5. 成年後見制度の利用者
6. その他 ()

■生活困窮者の支援についてお伺いします■

【生活困窮者の支援に関する取組みについて】

平成 27 年 4 月から、新しい福祉制度として「生活困窮者自立支援制度」がスタートしています。制度において「生活困窮者」として想定されるのは、下記のような方です。

【生活困窮者として想定される方の例】

- ・病気やけがなどにより、仕事につけないでいる
- ・非正規雇用を転々としているうちに自信を失ってしまい、仕事につけないでいる
- ・会社倒産などにより職を失ってから長い期間がたってしまった状態のまま
- ・いじめや虐待などにより他者を信じることができず、家にこもりがちである
- ・貧困などにより教育を受ける機会を失っている など

問 26 地域の中で上記に該当するような気になる方はいますか。

1. 気になる方がいる →問 27 へ 2. 気になる方はいない →問 29 へ

問 27 問 26 で「1. 気になる方がいる」と答えた方にお聞きします。行政機関等どこへ相談をしましたか。【○は 1 つだけ】

1. 役場の相談窓口
2. 民生委員・児童委員
3. 自治会役員
4. 社会福祉協議会
5. 地域包括支援センター
6. その他 ()
7. 相談や報告などは特にしていない →問 28 へ

問 28 問 27 で「7. 相談や報告などは特にしていない」と答えた方にお聞きします。相談や報告をしていない理由はなんですか。【○は 1 つだけ】

1. 本人が自分で相談していると思ったから
2. 行政機関などが把握して対応していると思ったから
3. 自分が相談・報告することではないと思ったから
4. どこに相談してよいかわからなかったから
5. その他 ()

問 29 福祉に関するご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

また、福祉あるいは地域に無関心な方に対して、関心を寄せるためのより良い対応策がありましたら、お書きください。

A large rounded rectangular box with a solid black border and ten horizontal dashed lines inside, intended for handwritten responses.

以上でアンケートは終わりです。お忙しいところたくさんの方の質問にお答えいただきまして、ありがとうございました。

このアンケート用紙を、返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、ご投函ください。

